

令和2年度シラバス（地理歴史）

学番 7 新潟県立新潟北高等学校

教科（科目）	地理歴史（地理B）		単位数	4	学年	2	学科	普通科
使用教科書	二宮書店 『新編詳解地理B改訂版』 二宮書店 『基本地図帳』							
副教材等	第一学習社 『最新地理図表GEO』							
学習目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。							
指導の重点	① 地理に対する興味・関心を引き出し、系統地理的な手法で、自然環境や社会環境の基本的事項を習得させる。 ② 基本事項同士の関連を把握させ、論理的に地理的事象を考察できる力を養う。 ③ 地誌的な手法によって、地域別、国別に系統地理的な内容を再確認させ、理解を深める。							
学 習 計 画 50分 時数計140								
月	単 元 名	学 習 内 容						時数
4	第Ⅰ編 地図と地理的技能	・世界を表す地図について、特徴や分類を学び、的確に読み、使えるようになる。時差の仕組みやその求め方を学ぶ。						5
5	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察	・世界の地形について、営力的分類から大観し、それぞれの地形の特徴と災害と恩恵など人間生活への影響を考察する。また、自然災害のメカニズムを学ぶ。						10
6	第1章 自然環境 地形、気候、自然と生活、 自然環境に関する諸問題など	・気候要素と気候因子の因果関係についてその知識を学ぶ。 ・ケッペンの14気候区の特徴や気候と人間生活の関わりについて学ぶ。						3
7	第2章 資源と産業 農林水産業 など	・世界の農牧業地域の区分と自然・社会条件を対比し、その特徴と農産物の流通状況を学ぶ。						18
9	資源・エネルギー、工業、 流通と消費	・世界の農牧業地域の区分と自然・社会条件を対比し、その特徴と農産物の流通状況を学ぶ。						8
10	第3章 人口と村落・都市 人口、村落・都市 など	・エネルギー資源、鉱産資源の分布やその問題について学ぶ。 ・世界の工業地域とその課題や交通、通信、経済圏について学ぶ。						6
11	第4章 生活文化と民族・宗教 衣食住、言語と宗教、民族 と国家 など	・世界と日本の抱える人口問題について学ぶ。 ・集落が立地する条件や集落の機能、発達について学ぶ。						8
12		・世界の言語・宗教など生活文化の違いから生じる民族の違いを学び、領土と絡んだ世界の民族紛争と共生への課題を探る						6
1	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 ・アジア（東、東南、南、 西、中央） ・アフリカ・ヨーロッパ ・ロシア・アメリカ・ブラジ ル・オーストラリアとカナダ 第3章 現代世界と日本	・中国、韓国、東南アジア諸国、インド、イスラームを中心とする西アジアと中央アジアについて、自然や民族・文化の特色を理解する ・サハラを挟んで文化の異なる北アフリカと南アフリカ、ヨーロッパ諸国、ロシアについて、自然や民族・文化の特色を理解する ・アメリカ合衆国とブラジル、オーストラリアとカナダについて、自然や民族・文化の特色を理解する。 ・現代世界の中の日本の抱える課題について学ぶ。						16
2								12
								10
								2
課題・提出物等	・地形図の作業プリントや課題学習プリントの提出。							
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	技能	知識・理解			
	地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしている。	地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の、生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身に付けている。				
評価方法	以上の評価規準を踏まえて、①授業の取組（授業の出欠状況、授業態度等）②授業の課題（提出物の取り組み、内容及び提出状況等）③年5回の定期考査の成績 などから総合的に評価する。							
担当者から	地形や気候、各地の文化など多様性に富んだ世界について学び、現代世界が抱える問題を理解し、国際理解を深めることで、現代に生きることをともに学びましょう。							